

## 11-6 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

イヨチ ウン マッ語るところからだよ

Iyoci un mat

イヨチ ウン クル

余市の男

Iyoci un kur

エプ アコロ ユピ

私の兄が

ep a=kor yupi

イレシパ シリ

私を育てた様子は

i=respa siri

エネイ オカ ヒ

このようでした。

ene[y] oka hi

チアラレス

大事に

ciararesu

チトムテレス

輝くように

citomteresu

イエイカラカラ ワ

私をそのように扱い

i=e[y]karkar wa

ウ ランマ カネ

いつものように

u ranma kane

オカヤニケ oka[y]=an h_ike	いたのですが
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今はもう
セモロ ポロ ノ semor poro no	少し大きく
ウ アハナン キ コロ u a[ha]n=an ki kor	なったので
イレス ユピ i=resu yupi	育ての兄は
サランペ ウイペ saranpe uype	絹の端切れを
ウ ケム トウラノ u kem turano	針と共に
サプテ イコレ sapte i=kore	出して私に与えました。
「コニンカラ クス “koninkar kusu	「さて、
アコッ トウレシ a=kor_ turesi	我が妹よ
メノコ アナク menoko anak	女とは
ケメイキ プ ネイ ナ kemeyki p ne[y] na	裁縫をするものだから

エケメイキ キ ヤク  
e=kemeyki ki yak

お前は裁縫をすると

ピリカ ナンコロ ナン」  
pirka nankor na[n]”

よいぞ (=裁縫しなさい。)

セコロ イタク コロ  
sekor itak kor

そう言いながら

イコロパレ コロ  
i=korporare kor

私にそれらを与えると

アハンケヨンパン  
a=hankeyompa[n]

近くを縫い縮め

アトウイマヨンパン  
a=tuymayompa[n]

遠くを縫い縮め

アコロパレ コロ  
a=korporare kor

(兄に縫ったものを) 渡すと

イレス ユピ  
i=resu yupi

育ての兄は

シイエトウウイナン  
si[y]etuuyna[n]

(驚いて) 自分の鼻を押さえ

エ シパルイナ  
e siparuyna

自分の口を押さえ

「アコッ トウレシ  
“a=kor\_ turesi

「我が妹は

ウ アシカイ カシパン」  
u askay kaspā[n]”

非常に上手だな。」

セコロ イタク  
sekor itak

そう言うだろう

アラム コロ オラン  
a=ramu kor ora[n]

と私が思っていると

シセンピリ ウン アン コロ  
sisenpir un an kor

後ろを向きながら

エピタッタラケン  
epitattarke[n]

くすくす笑う

ウ キ コトム ノ  
u ki kotom no

そうしているように

アネサンニヨ  
an=esanniyo

そのように見受けられます。

オカ オヤク タ  
oka oyak ta

別の場所では

アラム ロク ペ  
a=ramu rok pe

私はそう（上手だと）思っていたのですが

ウッシウ ウタラ  
ussiw utar

召使いの者たちも

オソッタンプ ネ  
osottampu ne

（私が縫ったものを）お尻のつぎ当てに

カラ ワ オカ ワクス  
kar wa oka wakusu

しているので

イルシカアン クス  
iruska=an kusu

私が怒って

エプ アコロ ユピ  
ep a=kor yupi

我が兄に

アエコイヨンヌッパン  
a=ekoyonnuppa[n]

訴える

イシサウ コンナ  
isis h\_aw konna

憤りの声が

ウ ヤクナタラ  
u yaknatara

鳴り響きます。

アナク キ コロカ  
anak ki korka

けれども

パシロタ カトウフ カ  
pasrota katuhu ka

(兄が召使いを) 罵る様子も

アネイランペウテク  
an=e[i]rampewtek

私にはわかりません。(見受けられません)

オトウ ケシ ト タン  
otu kes to ta[n]

毎日

ウ アナン カトウ  
u an=an katu

暮らしている様子を

アノモンモモ  
an=omommomo

つぶさに述べたのです。

ウ キ ロク アイネ  
u ki rok ayne

そうして

タネイ アナクネ  
tane[y] anakne

今はもう

セモロ ポロ ノ  
semor poro no

少し大きく

ウ アナン キ コロ  
u an=an ki kor

なったのですが

ネシ ナ クス  
nesi na kusu

そうして

アエヤイ…… アエカン ロク ペ  
aeyay... a=ekar\_ rok pe

私がそれで（針で）作ったもの

アカラ ワ アン ペ  
a=kar wa an pe

私が作ったものの

トゥ ル ウトウル  
tu ru utur

ふたつの縫い跡の間を

トゥ ペケツ チュブキ  
tu peker\_ cupki

ふたつの明るい光が

チオウシパカラ  
ciouspakar

きらめく

ウ パクノ ネイ コロ  
u pakno ne[y] kor

そのようにまでなると

イレス ユピ  
i=resu yupi

私の兄が

エネ イタキ  
ene itak h\_i

こう言いました。

「アコッ トウレシ  
“a=kor\_ turesi

「わが妹よ

イタカン チキ  
itak=an ciki

私が言うから

ウ ピリカ ヌ ヤン  
u pirka nu yan

よく聞きなさい。

シヌタップカ タ  
Sinutapka ta

シヌタップカで

アペ サク スクプ  
ape sak sukup

火もなく育ち

ワッカ サク スクプ  
wakka sak sukup

水もなく育った

カムイ オロ ハオイペ  
kamuy or [h]a=oype

神に食べさせられる<sup>山</sup>

カムイ ネ アン クル  
kamy ne an kur

神のような人が

エコロ クニ ヒ  
e=kor kuni hi

お前の夫となるということが

チホツパ イ イタク  
cihoppa [y] itak

言い残された言葉

ウ シンリッ イタク  
u sinrit itak

先祖の言葉

ウ ネ ワ シラン  
u ne wa siran

ということで

ルウエ タブ…… オカアナ  
ruwe tap... oka=an a

あるのだ。

ウ ニシパ プリ u nispa puri	立派な人の風習
ウ アイヌ プリ u aynu puri	人間の風習を
エコヤイケウトウム e=koyaykewtum	お前は自分の心に
エシロマレ e=siromare	刻みつけ
キ クニ タプ タプ ki kuni tap tap	そのようにして
オカアナ」 セコロ oka=an a” sekor	暮らすのだ。」と
オトゥ ケシト タン otu kesto ta[n]	毎日毎日
イカシパオツテ i=kaspaotte	私に言いつける
オカアン カトゥ oka=an katu	その様子を
アノモンモモ an=omommomo	私は述べたのです。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうして
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今はもう



シノツ ヌマツポ sinot numatpo	遊び紐を
アエリキライエ a=erikiraye	結ぶようになる
パクノ アナン コロ pakno an=an kor	くらいになり
シネ アン ト タ sine an to ta	ある日
ネコン ネ フミ nekon ne humi	どうしたこと
ウ ネ ナンコラ u ne nankor y_a	であろうか
イレス ユピ i=resu yupi	我が兄は
ウッシウ ウタリ ussiw utari	召使いの者たち
オピッタ トウラ opitta tura	皆と共に
エキムネ ワ イサム ekimne wa isam	山へ行ってしまい
シネンネ アナン sinenne an=an	私1人になりました。
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうして

ウ ニサプラムタン  
u nisapramta[n]

急に

シヌタプカ タ  
Sinutapka ta

シヌタプカの

カムイ ネ アン クル  
kamy ne an kur

神のような人を

アエポタラ ワ  
a=epotara wa

案じては

ウ ウエン ルイ ウエン ルイ  
u wen ruy wen ruy

胸騒ぎがする

タパン ペ クス  
tapan pe kusu

こんな状態なので

カムイ コソソテ  
kamuy kosonte

神の小袖を

アシリクルカサム  
a=sirkurkasam-

自分の身体にあわせて

エオハ ア ア……[2]  
eoha a a...

エオピラサ  
eopirasa

広げて（身に着け）

トウス チパヌブ  
tusu cipanup

トウスの鉢巻

ヌプッ チパヌブ  
nupur\_ cipanup

霊力のある鉢巻を

アエルリキクル a=erurikikur-	頭に高く
ウ プンパ カネ u punpa kane	巻いて
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇を
ウブソロ オマレ upsor omare	懐に入れ
ウ ウブソロ ウン タム u upsor un tam	懐刀は
アクッポケチウ a=kutpokeciw	帯に差して
ウ ソイ ワ サン マ u soy wa san w_a	外へ
ウ シキル u sikiru	向かって
ホプニ ネ イワン hopuni ne [i]wa[n]	立ち上がって
ウテレケ ネ イワン uterke ne [i]wa[n]	とび出し
アキ プ ネ コロカ a=ki p ne korka	そのようにしたのですが
コヨヤモクテ koyoyamokte	何かおかしいと

アキ プ ネ クス a=ki p ne kusu	思ったので
ウ シヌタップカ ウン u Sinutapka un	シヌタップカの
ウ タプ クルカシ u tap kurkasi	上空に
コヤイトゥナシカアン koyaytunaska=an	私は急いだのです。
エプ アキ ヒネ ep a=ki hine	そうして
シレパアン ルウェ sirepa=an ruwe	着いてみると
カムイ カッ チャシ kamuy kar_ casi	神が造った城
エアシラナ easirana	あらためて
ウ チャシ カムイ u casi kamuy	城の神
ウ ピリカ カトウ u pirka katu	その美しい様子を
アノモンモモ an=omommomo	詳しく述べましょう。
アナク キ コロカ anak ki korka	しかし

ネン エエク ヘ ワン  
nen e=ek he wa[n]

どこへ来るつもりで

エ エカヘ キ? [3]  
e=ek a he ki?

お前は来たのかと

ヤイヌアン クス  
yaynu=an kusu

思ったので

ヘヨキ サク ノ  
heyoki sak no

挨拶もなしに

アフナン ハワン  
ahun=an [h]awa[n]

入って行くと

ソモ スイ クスン  
somo suy kusun

まさか

インカラン クニ  
inkar=an kuni

(そんな様子を) 見ようとは

アラム ロク ワン  
a=ramu rok wa[n]

思わなかったのに

カムイ ネ アン クル  
kamy ne an kur

神のような人は

チトウイエ アムセツ  
cituye amset

仕切った寢床

ウ アムセツ カ ワン  
u amset ka wa[n]

寢床の上に

ホッケ コソント  
hotke kosonte

寝間着の小袖を

オスラ テク ヒネ  
osura tek hine

ぱっと脱ぎ捨て

イウ ヤイラム  
[i]u yayramu

油断

ウ サウレ カネ (?)  
u sawre kane(?)

していたところを (?)

チキマテッカ  
cikimatekka

(神のような人は) おどろか

アエカラカラ ヤクネ  
a=ekarkar yakne

された

コトム コロカイキ  
kotom korkayki

かのように

エアシラナ  
easirana

それこそ

チキマテッカ  
cikimatekka

(神なる人は) あわて

アエカラカラ コトム  
a=ekarkar kotom

させられたように

エアラカパラペン  
earkaparpe[n]

(神なる人は) ただ単衣だけ

ウ ヤイコノイパ  
u yaykonoypa

自分に巻き付けて

ウ ソイ ワ サン マン  
u soy wa san w\_a[n]

外へ

ウ コヤイキラレ  
u koyaykirare

出て行った

ウ キ ア コトム  
u ki a kotom

ように

アネサンニヨ  
an=esanniyo

思われ

ウル…… ウ クルカシ  
ur... u kurkasi

上空に

アネホプニ  
an=ehopuni

私は飛び立ちました。

【注】

- [1] 訳は「kamuy or ipe 神に食べさせられる」（『アイヌの叙事詩』 P462）とあるのを参考にした。
- [2] この行は言いさし。
- [3] 立派な館の前へ来ていささか臆したのだが、勇気をふりしぼるために、自分に向かって言っている言葉。